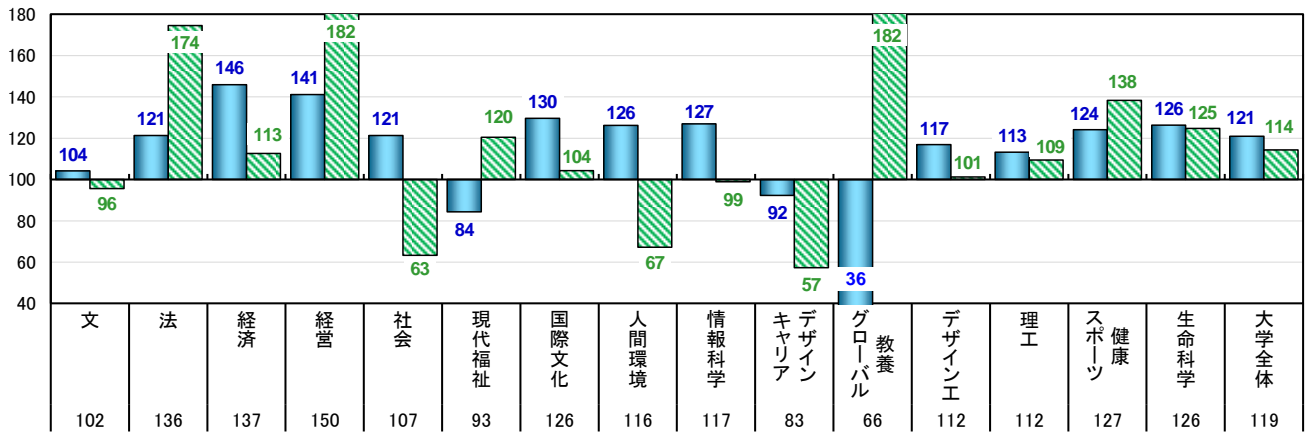


法政大：大学全体では4年ぶりに増加、15学部中12学部が増加 一般：+13,781人 共テ：+3,606人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点 選抜方法：〈英語外部試験利用〉新規実施…社会(社会政策科学)：募集人員：5人、利用方法：出願要件(社会)：募集人員：7人、利用方法：出願要件(メディア社会)：募集人員：5人、利用方法：出願要件国際文化：募集人員：5人、利用方法：出願要件グローバル教養〈A方式〉…外の独自試験を廃止し英語外部試験を活用利用方法：出願要件、得点換算

募集人員：社会(社会政策科学)〈A方式〉…93人→88人(社会)〈A方式〉…159人→152人(メディア社会)〈A方式〉…98人→93人国際文化〈A方式〉…123人→118人工(機械/航空操縦)〈一般・共テ〉…15人→25人(機械/機械工)〈A方式〉…50人→40人

入試科目：グローバル教養〈A方式〉…国+外→国+外+(歴公 or 数) ※外は英語外部試験を得点換算

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3年連続減少の反動もあって17,387人(119)の大幅増加。志願者数は2年ぶりの10万人超えの108,343人。方式別では、一般方式(121)は大幅増加、共通テスト利用方式(114)は増加。一般方式の〈英語外部試験利用〉(149)は、社会、国際文化の新規実施で大幅増加だが、新規実施を除くと(105)のやや増加。学部別では、15学部中12学部が増加。特に、経営(150)、経済(137)、法(136)、スポーツ健康(127)、国際文化(126)、生命科学(126)、情報科学(117)、人間環境(116)は大幅増加。一方で、グローバル教養(66)、キャリアデザイン(83)、現代福祉(93)の3学部は減少。

<一般方式>

- 文(104)は、やや増加で4年ぶりに増加。学科別では、(史学)(121)は大幅増加、(心理)(113)、(日本文)(113)は増加。一方で、(哲)(85)は大幅減少、(地理)(86)は減少、(英文)(95)はやや減少。
- 法(121)は、系統への人気の高まりもあって、大幅増加で5年ぶりに増加。学科別では、3学科とも増加で、(法律)(126)、国際政治(115)はいずれも大幅増加で2年連続増加。方式別では、〈英語外部試験利用〉(147)は前年度大幅減少の反動、〈T日程〉(131)は4年連続減少の反動で、いずれも大幅増加、〈A方式〉(117)は大幅増加で2年連続増加。
- 経済(146)は、大幅増加で5年ぶりに増加。学科別では、3学科とも大幅増加で、(現代ビジネス)(157)、(経済)(154)はいずれも1.5倍以上の増加。
- 経営(141)は、大幅増加で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、3学科とも大幅増加で、(市場経営)(163)は1.6倍以上の増加で2年連続増加、(経営戦略)(147)は大幅増加で3年ぶりに増加、(経営)(129)も大幅増加で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 社会(121)は、大幅増加で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、3学科とも増加で、(社会政策)(131)は2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続、(メディア社会)(125)も大幅増加で3年ぶりに増加、(社会)(112)は増加で3年ぶりに増加。
- 現代福祉(84)は、前年度大幅な増加の反動で大幅減少。学科別では、(臨床心理)(123)は大幅増加で6年ぶりに増加。一方で、(福祉コミュニティ)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 国際文化(130)は、大幅増加で3年ぶりに増加。方式別では、新規導入の〈英語外部試験利用〉を除いた、既存の2方式でも〈A方式〉(124)は大幅増加、〈T日程〉(104)はやや増加。
- 人間環境(126)は、大幅増加で3年ぶりに増加。方式別では、3方式とも大幅増加。
- 情報科学(127)は、系統への人気の高さもあって、大幅増加で2年連続増加。学科別では、2学科とも大幅増加で、(デジタルメディア)(128)は2年連続大幅増加、(コンピュータ科学)(126)も大幅増加で3年連続増加。
- キャリアデザイン(92)は、3年ぶりに減少。方式別では、〈A方式〉(107)はやや増加したが、導入2年目の〈英語外部試験利用〉(65)は大幅減少、〈T日程〉(86)も減少。
- グローバル教養(36)は、コロナ禍による系統への人気低下により激減で4年連続減少。方式別では、〈英語外部試験利用〉(24)は前年度3.6倍増の反動で激減、〈A方式〉(46)は外国語の独自日程を廃止し英語外部試験を必須化したことで半減以下。

- デザイン工**(117)は、大幅増加。学科別では、3学科とも増加で、(都市環境デザイン工)(124)は大幅増加で2019年度以降前年度の反動による増減が継続、(建築)(117)は大幅増加で3年ぶりに増加、(システムデザイン)(111)は増加で2年連続増加。
- 理工**(113)は、増加で3年ぶりに増加。学科・専攻別では、5学科・専攻中4学科・専攻が増加。特に、(創生科学)(143)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(機械/機械工)(131)は募集人員が10人(募集人員前年度対比指数80)減少だが、大幅増加で3年ぶりに増加。一方で、(経営システム工)(89)は唯一減少で3年連続減少。
- スポーツ健康**(124)は、大幅増加で4年ぶり増加。
- 生命科学**(126)は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、3学科とも増加で、(環境応用化学)(145)、(応用植物科学)(144)は大幅増加、(生命機能)(104)はやや増加。

＜共通テスト利用方式＞

- 文**(96)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、6学科中4学科が減少。特に、(英文)(72)、(地理)(84)は大幅減少、(史学)(93)はやや減少。一方で、(哲)(149)は大幅増加で4年ぶりの増加。
- 法**(174)は、系統への人気の高まりもあって、激増で3年ぶりに増加。学科別では、3学科とも大幅増加で、(政治)(285)は3年連続大幅減少の反動で激増。
- 経済**(113)は、増加で4年ぶりに増加。学科別では、(現代ビジネス)(475)は前年度激減の反動から5倍近い激増で、2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。一方で、(国際経済)(61)は前年度激増の反動で大幅減少、2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。(経済)(85)は前年度増加の反動で大幅減少。
- 経営**(182)は、前年度半減に近かった反動で激増。学科別では、(経営戦略)(564)は前年度に2020年度比13%の志願者数に激減した反動で5.5倍以上の激増、(市場経営)(190)は大幅増加で3年ぶりに増加。一方で、(経営)(92)は減少。
- 社会**(63)は、2年連続大幅減少。学科別では、3学科とも大幅減少で、(メディア社会)(59)は前年度増加の反動で大幅減少、(社会)(65)は3年連続大幅減少、(社会政策)(67)は前年度に2020年度比24%の志願者数に激減したことに引き続き、大幅減少。
- 現代福祉**(120)は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、2学科とも大幅増加で、(臨床心理)(121)は大幅増加で5年ぶりに増加、(福祉コミュニティ)(120)は2年連続大幅増加。
- 人間環境**(67)は、3年連続大幅減少。志願者数は2019年度の約4分の1。
- キャリアデザイン**(57)は、前年度倍増以上の反動で大幅減少、前年度の反動による増減が継続。方式別では、＜共テ・B方式＞(49)が前年度激増の反動で大幅減少、＜共テ・C方式＞(156)は前年度大幅減少の反動で大幅増加と対照的。
- グローバル教養**(182)は、激増で3年ぶりに増加。
- 理工**(109)は、増加で3年ぶりに増加。学科・専修別では、(創生科学)(176)は前年度大幅減少の反動で激増、(機械/機械工)(120)は大幅増加で3年ぶりに増加、(機械/航空操縦)(107)はやや増加だが、募集人員が10人(募集人員前年度対比指数167)増加のため、志願倍率は5.9倍→3.8倍に緩和。一方で、(経営システム工)(84)は3年連続大幅減少、(応用情報工)(87)は減少で3年連続減少。
- スポーツ健康**(138)は、大幅増加で5年ぶりに増加だが、志願者数は2020年度並。
- 生命科学**(125)は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、(環境応用化学)(168)は激増で3年ぶりに増加、(応用植物科学)(112)は増加で5年ぶりに増加。一方で、(生命機能)(95)はやや減少で2年連続減少。